

I 平成 28 年度事業運営の特徴と課題。

1 各介護保険事業の状況

(1) 利用の状況

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護老人福祉施設	98.2	97.5	99.1	99.1	94.9	94.0	94.6	97.9	97.0	96.9	99.4	96.7	97.1
短期入所生活介護	114.5	111.8	105.3	110.3	113.1	112.2	112.9	106.2	103.5	109.2	113.2	106.9	109.9
特養 計	101.4	100.4	100.4	101.3	98.5	97.7	98.3	99.5	98.3	99.4	102.2	98.8	99.7
												前年比	100.2

*施設総合は、入院等の空床をショートステイの効率的な利用に努めました。利用人数合計は36,375人で、前年より69名多く利用して頂きました。

通常型通所介護	82.6	85.8	87.3	89.2	82.5	82.9	84.1	86.5	83.7	79.2	82.4	88.0	84.6
認知症型通所介護	56.5	50.4	53.5	59.6	56.3	66.9	70.8	65.4	63.7	66.3	65.4	64.8	61.6
通所 計	76.1	76.9	78.8	81.8	75.9	78.9	80.8	81.3	78.7	75.9	78.1	82.2	78.8
												前年比	98.4

*デイサービスの利用人数は、通常型が7,227人(前年比97.3%)、認知症型が1,915人(前年比103.1%)、事業所全体では9,805人(前年比98.4%)でした。目標としていた年間稼働率の80%は達成できませんでした。

(2) 介護老人福祉施設事業の状況

港区の指定管理者として28年度から5年間の指定を受け、その1年目の管理運営を行いました。

サービスの提供に当たっては、ご利用者の個性や価値観を尊重し個々の能力に応じた生活が営めることを第一の目標に、安全で快適な施設生活を送れるようご利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスの提供に努めました。医療対応や見守りが必要なご利用者へのサービス体制として、医療対応体制の強化により健康管理に万全を期すとともに、身体状況や精神面に配慮した居室配置及び介護職員の見守り体制などによりケアの充実を図ったほか、医師の協力を得て看取り介護を実施しました。

また、楽しみの持てる活動の取り組みにも引き続き力を入れ、具体的には、外出機会や季節を感じながらのイベント・食を楽しむ会・児童館との毎月の交流会等を実施しました。

地域との連携では、小中学校や幼稚園をはじめ、町会、商店街、官公庁その他の団体など、幅広いメンバーで構成する「地域懇談会」を開催し、その協力のもとに納涼祭など時季に応じた行事を実施するとともに、地域の行事にも参加しました。また、専属のボランティア・コーディネーターを配置して積極的に地域のボランティアの活力を受け入れることにより、余暇活動の充実や日常生活の活性化を図ることができました。

介護報酬の改定による介護保険料収入の大幅な減収が見込まれる中、厳しい経営環境ですが、ご利用者へのサービス低下としないよう努めていきます。

(3) 短期入所生活介護事業の状況

ご利用者の心身の機能の維持並びにご家族の身体的及び精神的な負担の軽減が図れるよう、外出活動等を取り入れ、できる限りご希望に応じたサービスの提供に努めました。

また、介護老人福祉施設との併設であることから、施設ご利用者の入院や退所による空床をキャンセル待ちのご利用者に提供することにより稼働率は 109.9%となり、施設全体の稼働率は 99.7%となり、施設を有効に活用することができました。

(4) 通所介護事業・認知症対応型通所介護事業の状況

デイサービスのご利用により、ご利用者の心身の機能の維持並びにご家族の身体的及び精神的な負担の軽減が図れるよう、サービスの提供に努めました。

サービスの提供に当っては、ご家族及び居宅介護支援事業所との連携により、在宅生活の継続性を重視するとともに、ご利用者の希望に応じて選択できるよう、多彩な趣味生きがい活動のプログラムを準備し提供しました。

また、要支援状態のご利用者ができる限り要介護状態にならずに、住み慣れた地域でその有する能力を活かし自立した生活を送ることができるよう、介護予防サービスを提供しました。

今年度は、新たに年末の運営を実施したほか、相談体制の強化や臨時利用など稼働率の向上に取り組みました。年間稼働率は 78.8%で、前年度稼働率の維持向上は出来ませんでした。

(5) その他

認知症介護の専門職員を育成する東京都認知症介護研修を受講させるなど、認知症を十分理解してケアできる介護職の育成に努めました。

また、ご家族や地域に向けて、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の正しい理解を深める取組みを進めました。

2 港区からの受託業務等の状況

(1) 港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂の管理運営に関わる業務

港区の指定管理者として、港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂の管理運営に関わる看護に関する業務、介護に関する業務、その他複合施設であることによる建物管理等の業務を行いました。

(2) 港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂の管理運営に関わる業務

港区の指定管理者として、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂の管理運営に関わる入浴に関する業務、送迎に関する業務、その他調理委託等の業務を行いました。

(3) 港区高齢者集合住宅の生活協力員業務

港区から委託を受け、港区立はなみずき白金等 4 か所の港区高齢者集合住宅の生活協力員業務を行いました。

(4) 氷川武道場の受付等の業務

財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団から委託を受け、氷川武道場の受付等の業務を行いました。